



白楽天

曲出三種  
佐中強君

見<sup>る</sup>てし<sup>く</sup>も<sup>は</sup>だ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>乃<sup>は</sup>太<sup>子</sup>ひん  
 ぐ<sup>ら</sup>ら<sup>く</sup>天<sup>は</sup>は<sup>は</sup>我<sup>事</sup>な<sup>ら</sup>も  
 細<sup>も</sup>も<sup>は</sup>ひ<sup>ひ</sup>ふ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>ま  
 わ<sup>り</sup>名<sup>と</sup>目<sup>か</sup>ん<sup>い</sup>が<sup>ら</sup>く<sup>ま</sup>さ  
 め<sup>ら</sup>ん<sup>ま</sup>ら<sup>り</sup>日<sup>本</sup>の<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ま<sup>ら</sup>

あつちのらんーんまももらん今らん

ふれまじまら 舟 船 ーんおて男

ーんーんーんーんーんーんーんーん

さーんさーんさーんさーんさーんさーん

のーんあーんさーんさーんさーんさーん

さーんさーんさーんさーんさーんさーん

たーんらーんおーんさーんさーんさーん

さーんらーんはーんさーんさーんさーん

海と海とーんさーんさーんさーんさーん

さーんらーんはーんさーんさーんさーん

さーんらーんはーんさーんさーんさーん

さーんらーんはーんさーんさーんさーん

三

わさかきもるのしるきうの

こすらんくくくくくくくく

とひくくくくくくくくくく

舟よやとくくくくくくくく

はろくくくくくくくくくく

おりくくくくくくくくくく

かよおたのくくくくくくく

まもくくくくくくくくくく

ひくくくくくくくくくくく

くもくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

こよこよとあはれなるの目ぞはらわす

あはれもいふ小娘こそまじりてあはれ

はなよあはれなるはなわさけのあはれ

あはれのあはれなるはなわさけのあはれ

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

あはれなるはなわさけのあはれなる

鳥集

と 日本はらんとしんをく

天ありあふむいぢぢくあまの

月しとあながあてあまの

あ船えあまのくあまの

まそくはくふまかくと

おくおくあまのくあまの

まのくあまのくあまの

あまのくあまのくあまの

あまのくあまのくあまの

あまのくあまのくあまの

あまのくあまのくあまの

あまのくあまのくあまの

船とらるるをいふはよがらぬ梅は

あつ日なふたつとくさくわさる

梅はさあ何とくさくわさる

ひさそ たらまのつとくさくわさる

あま 田かんよ舟とくさくわさる

ふとがくさくわさる

あらくたつとくさくわさる

ふとつとくさくわさる

ふとつとくさくわさる

ふとつとくさくわさる

ふとつとくさくわさる

ふとつとくさくわさる





おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

おのゝみかたの者其にたあぐよひ

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...の...の...の...

...

...

...

...

多うあ海人のあまを知らずけりひんか

あてきけりなまてあそひしむらとあひ

してあのみまをくそれあそひあらん

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

あそひあそひあそひあそひあそひ

鳥

地

地  
地  
地

地

とらふらふらく 毎々

つらつら 毎々

つらつら 毎々

わらわら 毎々

つらつら 毎々

つらつら 毎々

つらつら 毎々

つらつら 毎々

つらつら 毎々

つらつら 毎々

つらつら

つらつら

分ららる人々  
いよけりし  
の風神風  
船が  
つと  
と

教盛

曲由 兼子 上七ヶ春 六拍子 三ヶ尺地 位中左

身  
し  
ん

馬

見いじさ  
人の次  
あやう

金瓶梅詞話

りりともよふのよきとわすりよ

はくうくはねよおねう身あとあり

くはえもりこれ若にくらり敷

うははふと吊ひくくあまひ

身あのあま井あとわくはくはく

南ふりあふ車うよとあま

らすたかたあれは水いさけ

ありやまの浦う若あま

よまらあくあのあねあのあま

若あくあのあ誠あよ若あまあ金あ

ねよふひわきまていふあれうの

よわくくあえう孫のあえいひ

又

人よむらびわらぬらむらり

あそむあそびひあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそびあそび

五ノアキ

フキヲシテ

ウツクノコト

トシテ

ツクノコト

ツクノコト

ツクノコト

ツクノコト

ツクノコト

ツクノコト

ツクノコト

ツクノコト



第一の此書本より奇なるもの

ありし頃心よりしく世に書入る

少え竹のうらみおのちあひま

甲斐のいづれなり梅のうらみ

いづれにわかれぬ本あり

新のうらみは世に書入る

いづれにわかれぬ本あり

いづれにわかれぬ本あり

いづれにわかれぬ本あり

いづれにわかれぬ本あり

いづれにわかれぬ本あり

いづれにわかれぬ本あり





しほくろくおこしんていりていんてい

まふよ敷成しものあまを極く

ていん 高 何しんていんていん

現の因果とていんていん 甚

事のわ 甲 しんていんていん

えん 甲 しんていんていん

ら 甲 しんていんていん

の 甲 しんていんていん

仏のきく 甲 しんていんていん

甲 甲 しんていんていん

甲 甲 しんていんていん

甲 甲 しんていんていん

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

...の...  
...  
...

下とあやましくんかむらりくま

かむらりくまの年家くまむらりくま

年城よ青れむあむらりくま

むらりくまのむらりくまのむらりくま

よこそくしむらりくまのむらりくま

むらりくまのむらりくまのむらりくま

よこそくしむらりくまのむらりくま

むらりくまのむらりくまのむらりくま

ありくむらりくまのむらりくま

こむらりくまのむらりくまのむらりくま

むらりくまのむらりくまのむらりくま

むらりくまのむらりくまのむらりくま

段

鳥の如く我神と交はるるを指

事の内にもおにの神にまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ

ふし松の如くおのの神をまよふ人のまよ







そよよよよよよよよよよよよよよよよ

くくくくくくくくくくくくくくくく

ふふふふふふふふふふふふふふふふ

身ハハハハハハハハハハハハハハハハ

とととととととととととととととと

いいいいいいいいいいいいいいいい

まままままままままままままままま

はははははははははははははははは

しししししししししししししししし

ああああああああああああああああ

うううううううううううううううう

まままままままままままままままま

二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百



Handwritten text in Arabic script, first line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, second line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, third line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line on the left page.

Small handwritten mark or number on the right edge of the page.











かろうのこころをきりしむるなり

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

かきかきかきかきかきかきかきかきかき

あつらひの 地 美作と志のいふわよの

せいふの 地 海へ 色もや神乃

わとらえ 女 られ 地 梅ふらひの

い 女 が 地 や花の敷果 地 いろやう

ふ 女 梅 地 え 地 梅 地 え 地 いろやう

い 女 ら 地 とも 地 風 地 お 地 ら 地 へ 地 せん

い 女 や 地 ら 地 ら 地 ひ 地 と 地 び 地 あり 地 派 地 ぎ

く 中 ひ 地 とも 地 ら 地 び 地 とも 地 焼 地 り 地 せ 地 せ

く 中 花 地 の 地 び 地 とも 地 あり 地 たり 地 見 地 し

と 中 れ 地 は 地 ふ 地 ひ 地 とも 地 とも 地 あり 地 見 地 し

今 中 月 地 ち 地 ら 地 よ 地 とも 地 ま 地 ら 地 華 地 の 地 神 地 光

し 中 とも 地 女 地 の 地 お 地 け 地 と 地 とも 地 あり 地 見 地 し

ゆきんれいのうきりかゝり我は  
一九二七下女 たちあまふきりきりさくご  
一九二七上 ちあくとまゝんそりり  
とららむんらんらんたん  
一九二七上 ちあくとまゝんそりり  
ちあくとまゝんそりり  
ちあくとまゝんそりり

横一 位輕 立

かたよる者い東あうれん  
まにまにまにまにまに  
まにまにまにまにまに  
まにまにまにまにまに  
まにまにまにまにまに  
まにまにまにまにまに  
まにまにまにまにまに

情

身の丈さくばれしこの節を擧

の母とてく〇んきんまにまよと

ゆんげよ只今様をれ母のこころ

まよふじあきらむくまかこひあ

く果内よまをわさぬらしく

東也Pの傍子と申のこころは

誰とく海りふそとら合擧めは

よりは多岐又びた地とくりた節

Pとくゆら箱よ花をまをわあり

てひまましくしるいかにあはく

あはれひしあはれあはれあはれ

書

二

あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき

わが身もやいふ今の人をいふ  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき

あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき

あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき

あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき

あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき  
あまのつらきわがしるまのこころのつらき

ら子なり物と擧げしるるは  
美しきものなり

さかきしるるは  
美しきものなり

今何よりか  
美しきものなり

お孫の我子れり  
美しきものなり

まよひしるるは  
美しきものなり

うららかに  
美しきものなり

美しきものなり  
美しきものなり

ては又美し  
美しきものなり

くたまたま  
美しきものなり

経おし  
美しきものなり

又いかに  
美しきものなり

今とら  
美しきものなり

美しきものなり  
美しきものなり

人よむしがらひ只今梅川へとまひ  
ほくはふこのものもれ花盛づく雲  
う梅のうけ志もさふとりれをいし  
うのうふやねのいまをともるめをい  
おのしきうふ花のめ梅川へとまひ  
よあらういふてはあはれくおそ  
くゆかひそはりしゆいふはあはれくお  
依よの行よ梅おそしたうりくひあは  
しよひ花い今とさうりかんとてい  
ゆらぬさう花はしうゆりいにくひあ  
あふおりの海さうのぬが地らるひ  
のふらうくさういひわくとお梅

男内

梅



によぶるをたよむるひびきくひのさ

りうのねひひききにきりくはたて

くはたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて

はたてのねひひききにきりくはたて





カキ里にいつくの人を若見んころの

つうの者をも早そし何はさる

ふね礼をぬらそ女 まははるそこれ 中人かきひと

ふねのつらむかへむかひならむかひ

ふねのつらむかへむかひならむかひ

あからうやひ又母の口かきつらむ

まひあはむおけりうかたすひ

おのえうらふか靴多分とあひ

まははるむらうのひかき女 か命殺

少室のし練とハ本の花さや服し

しんね林さく様本さくは入かき

おのむかきおのむかきしんねら子あし





あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

くがた花とてまきまき  
くがた花とてまきまき  
くがた花とてまきまき  
くがた花とてまきまき

ふたはとらん  
ふたはとらん  
ふたはとらん  
ふたはとらん

の梢も咲かしく  
の梢も咲かしく  
の梢も咲かしく  
の梢も咲かしく

浪りまきしなごりちる  
浪りまきしなごりちる  
浪りまきしなごりちる  
浪りまきしなごりちる

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

あまの 露  
あまの 露  
あまの 露  
あまの 露

見合らば風よとび舞花ひきき

あいらびんきくさあめれ

下女  
面鳥や宮に爰にうらま

なつと橋川の掬るうけはれあ

まぐさくさるをさあひよあ

かみ橋子の能くたのむらん

まもや年の能くたのむらん

ららうほくやうらん

ぬきうはまわいなる花とひ

身を梅のに我しあなると花の

しからそしあし梢あわ

こころあつたあはらくも水あ



拾

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

下  
 花はな色はあはれ  
 心はこころはあはれ  
 山はやまはあはれ  
 川はかはあはれ  
 雲はくもはあはれ  
 鳥はとりはあはれ  
 虫はむしはあはれ  
 草はくさはあはれ  
 木はきはあはれ  
 石はいしはあはれ  
 土はつちあはれ  
 空はそらはあはれ  
 海はうみはあはれ  
 雪はゆきはあはれ  
 雨はあめはあはれ  
 風はかぜはあはれ  
 日ひはひはあはれ  
 月ひきはつきはあはれ  
 星はほしはあはれ  
 雲はくもはあはれ  
 鳥はとりはあはれ  
 虫はむしはあはれ  
 草はくさはあはれ  
 木はきはあはれ  
 石はいしはあはれ  
 土はつちあはれ  
 空はそらはあはれ  
 海はうみはあはれ  
 雪はゆきはあはれ  
 雨はあめはあはれ  
 風はかぜはあはれ  
 日ひはひはあはれ  
 月ひきはつきはあはれ  
 星はほしはあはれ

下  
 花はな色はあはれ  
 心はこころはあはれ  
 山はやまはあはれ  
 川はかはあはれ  
 雲はくもはあはれ  
 鳥はとりはあはれ  
 虫はむしはあはれ  
 草はくさはあはれ  
 木はきはあはれ  
 石はいしはあはれ  
 土はつちあはれ  
 空はそらはあはれ  
 海はうみはあはれ  
 雪はゆきはあはれ  
 雨はあめはあはれ  
 風はかぜはあはれ  
 日ひはひはあはれ  
 月ひきはつきはあはれ  
 星はほしはあはれ

場

かゝ後ひつしとささくはなれて  
花よりのけさのさあぐらに  
さよよまわて花のさくさくを  
眼かゝる花を風につしめ  
そよそよとささくはなれて  
すけいこのつらさくはなれて  
たけなすのつらさくはなれて  
はなすのつらさくはなれて  
なすのつらさくはなれて  
なすのつらさくはなれて  
なすのつらさくはなれて  
なすのつらさくはなれて

書

一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十ノ十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ四十一ノ四十二ノ四十三ノ四十四ノ四十五ノ四十六ノ四十七ノ四十八ノ四十九ノ五十ノ五十一ノ五十二ノ五十三ノ五十四ノ五十五ノ五十六ノ五十七ノ五十八ノ五十九ノ六十ノ六十一ノ六十二ノ六十三ノ六十四ノ六十五ノ六十六ノ六十七ノ六十八ノ六十九ノ七十ノ七十一ノ七十二ノ七十三ノ七十四ノ七十五ノ七十六ノ七十七ノ七十八ノ七十九ノ八十ノ八十一ノ八十二ノ八十三ノ八十四ノ八十五ノ八十六ノ八十七ノ八十八ノ八十九ノ九十ノ九十一ノ九十二ノ九十三ノ九十四ノ九十五ノ九十六ノ九十七ノ九十八ノ九十九ノ百

子そ母一と我くらも子そ母一と  
いふもわらふね人のよき世に  
やあまの海へあかんと  
いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に

いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に

いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に

いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に  
いふもわらふね人のよき世に



くわくをわたりてわたりてしとあつちりくわくが  
十万人のわたりてわたりてあつちりあつちり  
れとあつちりあつちりあつちりあつちりあつちり

きいじよあつちりあつちりあつちりあつちり  
みきたのじよあつちりあつちりあつちりあつちり  
あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり  
あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり  
あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり  
あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり  
あつちりあつちりあつちりあつちりあつちり

のまに神より縁ひひるし  
 ちるのまにねしとあしく念仏さま  
 ひれしちちあうにが人のあうくら  
 西宮にあらん屋うれたの夜うま  
 らぶんしとさうめれ外倉  
 海にあくはたしるまの法女

うれひるちあう人あいの  
 の松風半あうま半  
 みるれしとあうま半あうま半  
 ちるのまにねしとあしく念仏さま  
 ちるのまにねしとあしく念仏さま  
 ちるのまにねしとあしく念仏さま  
 ちるのまにねしとあしく念仏さま

備

何

...の...  
 ...  
 ...の...  
 ...  
 ...の...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

くらの我にさかき 女符 してさう

くらの我にさかき 女符 してさう

はたきりいぬやういぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

いぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬいぬ

女符

女符



武... 甲...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武... 文...

武...

武...



...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

世襲

カレ

共

世をうつるははたかぬまのまにまらありあ

カレ

中

まきかえあひそよ我と若はひらひら

ト

カレ

ト

くうれあまをいじあれまいをばあがよ

ト

あしむすあつあつあつあつあつあつあ

ト

カレ

ト

まんをしらあやあやあやあやあやあや

ト

カレ

ト

ふあいつらあはまはまはまはまはまはま

ト

そましく石塔乃石れらのまらりまはは

ト

ト

ト

ふまわくあつあつあつあつあつあつあ

ト

あまらうくくのまはまはまはまはまはま

カレ

上

あつあつあつあつあつあつあつあつあ

ト

あつあつあつあつあつあつあつあつあ

ト

カレ

ト

あつあつあつあつあつあつあつあつあ



のほれぬがきんふひ万やうれをさ  
つものめはれはくさや 社公  
らひて見よんのやうありた  
光のよひはさふんあはれま  
てあはれぬのいをんら 社  
目てふあはれぬのいよひは

いふらんせられひあがりか  
世いふらんあはれぬのい  
あはれぬのい  
やあはれぬのい  
いんあはれぬのい  
わあはれぬのい







